



6月10日(火)

私たちは主のものだから

聖書朗読 コリント人への手紙 第二 12:9

しかし、主は、「わたしの恵みは、あなたに十分である。というのは、私の力は、弱さのうちに完全に現れるからである」と言われたのです。ですから、私は、キリストの力が私をおおうために、むしろ大いに喜んで私の弱さを誇りましょう。

コリントⅡ 12:9

私の父は学生時代、陸上界のスターでした。私がリレーチームに入った時、聞こえてくる父の伝説に圧倒されました。父が私の大会を見に来た時、私はとても上ってしまいました。私は父を誇らしい気持ちにさせたかったのです。

スタートを告げるピストルが鳴り、私は一生懸命走りました。でも、勝てませんでした。惨敗です。息が上がったままの私は、父を失望させてしまったと打ちひしがれていました。しかし、トラックで待っていた父を見ると、父の顔には失望の色はなく、むしろ満面の笑みで私に言いました。「やあ、前の走者にかなり迫っていたの知ってた？ 頑張ったね！」彼のこの言葉は私を変えました。

父の存在と言葉はグラウンド上で注がれた恵みでした。この恵みのおかげで私の成績がどうであれ、父は私のことを愛してくれていることを改めて知ることができました。この時の出来事のおかげで、私は神様の恵みについてより深く知ることができました。私たちの弱さの中でさえ、神様の恵みは十分であることをパウロは私たちに教えてくれています。私たちは愛されるために完璧である必要はありません。私たちの価値は成功で測られるものではないからです。神様の恵みは、私たちが抱きしめ、勇気づけます。そして、私たちは神様のものであるという、ただそれだけの理由で、私たちは大切にされているのだと気づかせてくださいます。

讃美歌 492 神のめぐみは

祈り 主よ、私の弱さをカバーしてくださり感謝いたします。あなた様の愛は稼ぐものではなく、無償で与えられるものであることを知って、その愛の中で安らぐことができますようお助けください。イエス様のお名前によって。アーメン。

編集者 スティーブン S・レムリー

6月11日(水)

そんな時、何と言ったら

聖書朗読 マタイの福音書 13:18~21

お互いに親切にし、心の優しい人となり、神がキリストにおいてあなたがたを赦してくださったように、互いに赦し合いなさい。 エペソ 4:32

ひたすら悪い知らせばかりが聞こえてきた週を思い出しました。それは全く思いがけないことの連続でした。母に教わった通り、私は静かに耐え続けました。

そんな時、長年の友達にばったり会いました。彼は私に何があったのか優しく尋ねました。私が自分の身に起きていることを彼に伝えると、彼は私の方に身を寄せ、そしてただ「エミリー、大変だったね」と言いました。

今まで読んだ、悲しむ者に同情することについての書籍やブログの内容が、目の前でよみがえりました。友人は私に自分が大変だった時の話をするわけでもなく、「時間が解決してくれるよ」といったよく聞く慰めの言葉を言うわけでもなく、また「ひどいね」と言ってすぐ去って行くわけでもありませんでした。

イエス様も同じでした。多くの場合、イエス様は穏やかに真実を示されました。イエス様はとても穏やかに苦しみにあっている人たちの言葉に耳を傾けられました。イエス様は彼らの痛みに注意を向けることも、また彼らを奇異な目で見ることもしませんでした。今日、あなたも、ただ優しく「大変でしたね」と言う機会があるかもしれません。それだけで十分です。自信を持ちましょう。この優しさが、イエス様がそうされたように、相手に希望を与えるからです。

讃美歌第二編 55 主イエスは死に勝ち

祈り イエス様、神に愛されている御方、今苦しみの中にいる人々を見落とさない目をお与えください。優しく寄り添うことのできる知恵を与え、私たちの優しさによって、彼らの心を満たすあなた様の安らぎを祈ることができるよう私たちをお導きください。イエス様のお名前によって。アーメン。



編集者 エミリー・レムリー



6月14日(土)

## 忘れることがないように

聖書朗読 申命記 8:1~9

気をつけなさい。私が、きょう、あなたに命じる主の命令と、主の定めと、主のおきてを守らず、あなたの神、主を忘れることがないように。 申命記 8:11

過去は重要ですか。我々の歴史を覚えておくことは重要なことでしょうか。現在と未来だけに価値があると言う人もいます。“過去は変えられないのに、なぜ過去を気にするのですか”それでは、結婚記念日を忘れてしまった夫に、過去のことを覚えていることは重要かどうか訊いてみてください。愛する人が記憶喪失にかかってしまっている人に訊いてみてください。記憶は大切です。愛する人を失った人に、過去は価値があるかどうか訊いてみてください。戦争の恐ろしさを経験している人は“決して忘れてはいけない”ことの重要性を誰よりも知っています。

クリスチャンにとっては、記憶はとても重要なことです。昔のヘブル人たちにとって、毎年、過越の祭を覚えることは、神の選ばれし民としてのアイデンティティを形成する基盤となっていました。神様を忘れること(まるで神は価値のないものであるかのごとく振る舞うこと)は私たちの罪の中で最も由々しきものであると、申命記は警告しています。

クリスチャンは、イエス様が最後の晩餐で言われた『わたしを覚えて、これを行いなさい』という御言葉を、教会での聖餐式のたびに繰り返し思い出します。毎週、主の食卓にあずかることで、私たちはイエス様の十字架上での犠牲を新たに覚え、それが私たちにとっていかに重要であるかを称えるのです。

讃美歌 494 わが行く道

祈り 宇宙の創造主、父であり友人でもある方、今日、私たちはあなた様が私たちのために払ってくださった犠牲、神様にはふさわしくない死を決して忘れないようにします。あなた様の御前に頭を下げます。イエス様の御名前によって。アーメン



カリフォルニア州 オークパーク / アンディ・ウォール

6月15日(日)

## 人生が順調の時は

聖書朗読 申命記 8:11~20

また、人の益を計り、良い行いに富み、惜しまずに施し、喜んで分け与えるように。

テモテ I 6:18

人生はいつも大変というわけではありません。ですから、もし人生が非常に順調なときは、クリスチャンとしてどうしたらよいのでしょうか。ここに良い時のクリスチャンとしての行いを7つ記します。

—完全な賜物すべての贈り主であるあなたの神を忘れないでいましょう。神様の戒めは、命を祝福し、永遠の命を持つために与えられました。

—成功や祝福を自分の手柄にしないように気を付けなさい。成功をもたらしたあなたの能力は元をたどればすべて神様の恵みからきたものです。

—賛美、礼拝、感謝を通して、いつも神様に感謝の気持ちを表しましょう。

—あなたの希望がどこに置かれているか注意深く観察しましょう。富に、または経済的不安定や恐れから逃れることに希望を置くのなら、私たちは分け与えるより貯め込んでしまいます。

—あなたの持っているものを良きもののために使いましょう。恵みを求めるのではなく、恵みを与える人になりましょう。

“順調なとき”こそ、良い行いをする絶好のチャンスです。

讃美歌 367 木工のわざをば

祈り お父様、全ての良きものをくださる御方、順調な時こそ感謝の気持ちをもってあなた様の前にひれ伏します。神様のご加護を信じて、良い時も悪い時も人生を楽しみます。イエス様のお名前によって。アーメン。



カリフォルニア州 オークパーク / アンディ・ウォール